

宇治市地域公共交通会議会議録

令和 5 年度第 2 回

令和 6 年 1 月 11 日（木）

10 時 30 分～

宇治市役所 8 階大会議室

令和5年度第2回宇治市地域公共交通会議会議録

令和6年1月11日（木）

10時30分～

宇治市役所8階大会議室

1. 会議次第

協議事項

(1) 炭山地域における交通空白地有償運送の更新登録について

2. 出席委員（16名）

会	長	高橋	愛典
副	会 長	井上	学
委	員	毛海	千佳子、山本 直彦、島崎 貴士、岡田 一敏、 吉田 實子、石川 秀一、杉本 英樹、上田 智之、 木原 健太、松永 弘道、中村 光宏、子富呂 誠一、 五十嵐 司、米田 晃之

3. 欠席委員（0名）

4. 事務局（4名）

交通政策課長	倉辻	崇秀
交通政策課係長	西岡	信彦
交通政策課主任	小倉	寛朗貴
交通政策課主任	木村	謙斗

5. 傍 聴（1名）

令和 5 年度第 2 回宇治市地域公共交通会議

令和 6 年 1 月 11 日（木）

10 時 30 分～

宇治市役所 8 階大会議室

炭山区町内会の出席者紹介

交通空白地有償運送の登録申請者となる炭山区町内会の出席者について
会長より紹介

協議事項

- (1) 炭山地域における交通空白地有償運送の更新登録について
事務局より資料 1 から資料 2 をもとに説明

【委員】

交通空白地有償運送は採算性を目的とするものではないが、R5 年度の運行実績については、4 月から 9 月の上半期の実績を倍にしても、かなり落ち込んだように見受けられる。

【事務局】

地域の方からは、よく使われていた方が利用をやめられた、通院から在宅医療に切り替えられたなど個々の事情の中で減ってきていると聞いている。

コロナの出控え等もあり、福祉的な面や利用者の状況が変わってきている中で、利用したい人がいても周知が行き届いてないとの話も聞いているため、引き続き事業を実施する中で実数も変わってくると考えている。

【炭山区町内会】

高校生とか中学生も利用していたが、アシスト自転車が流行りだしており、ほとんどの高校生がアシスト自転車で通学をしている。中学生もこれまで利用していた夏休みのクラブとか、放課後の塾通いも自力で行けるので、その中高生の利

用が少なくなっている。高齢者も病院に行けなくなっており、今まで利用していた人が利用しなくなったことが理由と考えられる。

【会長】

運行実績の回数は延べ人数となるので、1人、2人であっても繰り返し使っておられた方が利用されなくなると、全体のデータに大きく影響が出る場合もある。

【委員】

交通空白地有償運送は、もともと需要が少なくて、バスでは成立しないところに、地域の方々にサポートいただくというものなので、利用者が減っているのは問題ないことだと思うし、無理して利用促進をすることもない。今お困りの方の困りごとをどこまでサポートできるか、むしろこれを使っておられる方々が、このサービスがあることで助かっているということを明らかにしていった方がいいと思う。

もし利用者が増えていくなれば、バスを走らせないといけなくなり、ドライバーの負担も増えてしまう。あまりドライバーに負担がかからないように、みんなで折り合いをつけて、細く長くやっていくというコンセプトで続けていければと思う。

高校生が電動アシスト自転車を利用しているのは、他の地域でもそうになっている。コロナ禍の給付金10万円をいただいて、高校生みんなが電動自転車を買ってバスを乗らなくなったことがある。中学生もまだまだ元気なので、自力で移動していると思う。その中で、この中高生たちには、自転車通行が危ないと思う場所を聞いておいてほしい。それをヒヤリハットマップとして地域で共有して少しでも事故を減らしていくことが大切であるため、今後実施いただければと思う。

別の自治体では、電動アシスト自転車の駐輪が面倒くさいため、鍵をつけずに置きっ放しにして戻ってきたら自転車がないことが多いとも聞く。また電動自転車の充電器を盗まれる事案がかなりあるとも聞く。伊丹市ではこうした事案がよくあったので、面倒でも管理はしっかりした方がよいということを、中高生に伝えていただければと思う。

あとは、地域の方々がお出かけの時に、皆で声かけしてドライバー1人の方に送っていただけるようにする協力とかを今後進めていただければと思う。ドライバー謝礼も多く金額ではないし、地域の方のボランティアに基づくものなので細く長く続くことを期待している。

【会長】

伊丹市については、私も交通政策会議に出席しており、自転車部会の中で、市内の自転車保険の業界団体の方や高校生が多いので、高校の校長先生にも入っていただいて、そんな議論をしていた覚えがある。

ヨーロッパだと、例えばオランダとかドイツは自転車はかなり普及をしているが、私が滞在していたイギリスでは環境問題の面から、今まであまり普及していなかった自転車を普及させようという動きが政府の政策として、打ち出されている。その背景にはこういった電動アシストの技術的なところとか道路の発注とかもあり、宇治の議論にも多少影響をおよぼしていると思う。

炭山については、小中学生は別途スクールバスが確保されており、それとの使い分けという形でも中高生の方に利用されてきたと考えられる。

【会長】

それでは、ただいま協議いただいた炭山区町内会様の交通空白地有償運送の更新登録について、採決を取りたいと思う。宇治市地域公共交通会議として、異議はないか。

～「異議なし」の声あり～

それでは、炭山区町内会様へは、本会議において協議が調った旨の証書を後日事務局より送付させていただく。

本日予定していた会議の日程については以上となるが、委員から資料配布のあった「バスどらフェス in 京都」の内容について補足をいただければ。

【委員】

委員の皆様にお配りした「バスどらフェス in 京都」について、皆様ご承知のとおりバスの 2024 年問題が去年の夏ぐらいから言われ始めた。これは、青天井だった労働時間を今年の 4 月からの働き方改革にて是正するもの。今までのルールに基づいてダイヤを引いていたら働き方改革のルール上問題になるので、それを是正することが議論のスタートだった。

結果として、労働条件を考慮して労働時間を減らすということも大事だが、それに加えてドライバーが流出していることが大きな課題になりつつある。バスだけでなく、トラックもタクシーも同じように、今年の 4 月から 2024 年問題というのは全部スタートする。

タクシーは日帰り運行なので労働時間を大幅に超えるということは少ないが、ドライバーが引退され、新たなドライバーがなかなか入ってこなかった状況もある。ただタクシーは、最近下げ止まりから若干上向き加減というふうに聞いている。まだコロナ前の水準には戻ってないが、右肩下がりでも今は下げ止まったというふうに認識をしている。

バスは、担い手、ドライバーがいなければ、いくらダイヤを引いてもバスは来ないということで各社と協議している。京都京阪バスも当然厳しい状況に追い込まれていると伺っている。減便や或いはもうもたないところは切るといような話も出ており、それをずっと放置してよいわけでは決してないと我々思っている。

今回のイベントは対象者を絞っていないため、どなたにお越しいただいても構わない。バスの運行がわからないという人はぜひ来ていただければと思う。今までこのようなイベントは、子ども向けなどが多いが、今回はバス運転に興味がある方に来ていただきたいと思っている。

最近バスの運転はやめとけということが大体二言目に帰ってくるが、決してそのような職業ではないということをアピールしたいと思っている。①番ではドライバーの生の声を伺うが若い運転手にご登壇いただく。あるいは、ペーパーの方で 2 種免許を取ったという方にもご登壇いただく予定である。

②番の午後の方は人が変わるが、やってみて実際どうだったというのを中心にお話をいただきたいと思っている。

その他ご自身でバスを動かすというのはできないが、運転席に座っていただいてバスの大きさというのをぜひ実感いただきたいと思うし、ドライバーの実施体

験では、雨天の状況についても車内で解説付きで走っていただこうと思っている。

バスの運転というのは誰でもできるとは我々いわないが、イベントを通じて1度はチャレンジしたいと考えていただくきっかけになればと思っている。非常に近い日付の1月21日開催ということで、場所は京都運輸支局。伏見の竹田のほうで、近鉄の上鳥羽口駅か地下鉄くいな橋駅から徒歩5分となる。

また当日お見えになられないという方々も多数おられるかと思う。イベントの①と③はまた後日YouTubeへの公表も予定しているので、ご都合が合わなければそちらをご覧くださいいただければと思っている。

このイベントを通じて、運転は決して簡単ではないが、そんな足が進む、或いはそんな言うほどひどくないということを感じていただければと思っているので、ぜひご参考いただければ。

【委員】

弊社からは現況報告をさせていただきたい。まず弊社のバス事業に関して、皆様からの温かいご支援ご協力、心より感謝を申し上げる。バス事業の現況というのは、利用者減、そして燃料価格高騰による厳しい経営環境はもとより、バス路線の維持確保に影響を及ぼすほどの運転者不足もあり、交通環境をとりまく非常に厳しい状況にある。

弊社では11月には平日に必要な運転者の確保が困難となったので、一部のダイヤにおいて減便を実施しており、宇治市域にかかる路線では御蔵山地域、六地藏駅を結ぶ路線で20%程度減便した。

またバス事業においては、4月に労働時間改善のための基準があり、これによる、さらなる労働者の確保が必要となってくる。

これからの社会インフラと経営の継続のために、引き続き継続的なご支援とご協力をお願い申し上げます。

【会長】

この会議自体、こういった情報の提供とか交換の場としても活用していければと思っているので、次回以降もご協力をいただければと思う。

— 了 —

宇治市地域公共交通会議会議運営規程第5条第2項の規定により署名する。

会議録署名委員

会 長

高 橋 愛典

委 員

岡 田 一敏
